

コスモ・中国株厳選ファンド

愛称：百花繚乱

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	信託期間は原則無期限です。	
運用方針	中国株厳選マザーファンド受益証券を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。 実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。 国泰君安アセット（アジア）にマザーファンドの運用の指図に関する権限の一部を委託します。	
主要運用対象	ベビーファンド	中国株厳選マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。株式等に直接投資することがあります。
	マザーファンド	主たる投資対象は、香港、上海および深センの各金融商品取引所の上場銘柄とします。なお、事業・投資活動がグレーターチャイナ地域（中国・香港・台湾）で行われている企業であれば、その他の各市場に上場している銘柄にも投資を行います。
組入制限	ベビーファンド	株式への実質投資割合には制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

第5期運用報告書（決算日） 2011年7月19日

お客様へ

毎々格別のお引立てにあざかり厚く御礼申し上げます。
さて、「コスモ・中国株厳選ファンド」は、2011年7月19日に第5期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

T&Dアセットマネジメント株式会社

〒105-0022 東京都港区海岸1-2-3

商品内容に関するお問い合わせ、資料請求は、下記にご連絡下さい。

連絡先 03-3434-5544

（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

インターネットにより、ファンドのご案内、運用実績等の情報提供を行っております。

<http://www.tdasset.co.jp/>

目次

■ 設定以来の運用実績、基準価額の推移等	
・ 設定以来の運用実績	1
・ 当期中の基準価額と市況等の推移	1
■ 当期の運用状況と今後の運用方針	
・ 市況概況	2
・ 運用概況	4
・ 分配金	8
・ 今後の運用方針	8
■ 1万口当たりの費用明細	9
■ 売買および取引の状況	9
■ 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合	9
■ 利害関係人との取引状況等	10
■ 組入資産の明細	10
■ 投資信託財産の構成	11
■ 資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況	
・ 資産、負債、元本および基準価額の状況	11
・ 損益の状況	11
■ 中国株厳選マザーファンド（第5期運用報告書）	12

設定以来の運用実績、基準価額の推移等

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			株式 組入比率	株式 先物比率	投資信託 証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率				
設定日 2006年7月21日	円 10,000	円 —	% —	% —	% —	% —	百万円 4,700
1期(2007年7月17日)	14,917	5,000	99.2	92.3	—	—	10,162
2期(2008年7月17日)	10,927	0	△26.7	90.7	—	2.6	3,270
3期(2009年7月17日)	8,732	0	△20.1	80.6	—	—	1,790
4期(2010年7月20日)	8,899	0	1.9	91.2	—	3.8	1,382
5期(2011年7月19日)	9,033	0	1.5	91.0	—	—	875

(注) 基準価額および分配金は1万円当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 設定日の基準価額および純資産総額には、当初元本を用いております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、組入比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは、主として香港、上海および深センの上場銘柄のうち中小型株を中心に投資を行います。同様のユニバースから構成される適切な指数が存在しないため、当ファンドでは、ベンチマークおよび参考指数を特定しておりません。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		株式 組入比率	株式 先物比率	投資信託 証券 組入比率
	騰落率				
期首(前期末) 2010年7月20日	円 8,899	% —	% 91.2	% —	% 3.8
7月末	9,402	5.7	91.9	—	3.9
8月末	8,838	△0.7	92.4	—	4.0
9月末	9,427	5.9	92.4	—	4.1
10月末	9,732	9.4	92.3	—	4.3
11月末	9,762	9.7	90.0	—	—
12月末	9,628	8.2	88.6	—	—
2011年1月末	9,781	9.9	91.4	—	—
2月末	9,289	4.4	90.3	—	—
3月末	10,062	13.1	93.1	—	—
4月末	10,334	16.1	93.5	—	—
5月末	9,686	8.8	93.6	—	—
6月末	9,251	4.0	89.6	—	—
期末 2011年7月19日	9,033	1.5	91.0	—	—

(注) 基準価額は1万円当たり。期末基準価額は分配金込み。騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、組入比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは、主として香港、上海および深センの上場銘柄のうち中小型株を中心に投資を行います。同様のユニバースから構成される適切な指数が存在しないため、当ファンドでは、ベンチマークおよび参考指数を特定しておりません。

■市況概況

インフレおよび金融引締めへの懸念から上値の重い展開

【株式市場動向】

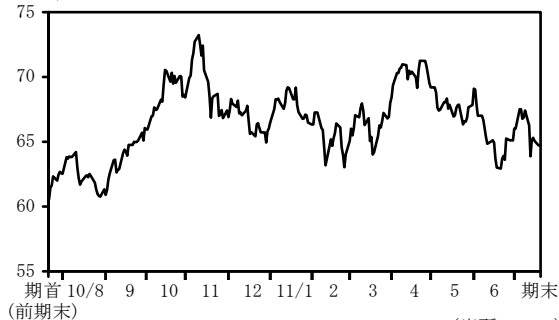
期首～2010年10月

2010年7月の中国本土株式市場および香港株式市場は、中国の弱めの経済指標を受け、金融および不動産市場に対する引締め政策が緩和されるとの期待が強まったことなどを背景に、上昇しました。8月の中国本土株式市場および香港株式市場は、追加的な不動産バブル抑制策に対する警戒感を背景に、不動産関連株を中心に軟調に推移しました。9月の中国本土株式市場および香港株式市場は、米国の経済指標が改善したことに加え、第2四半期から後退していた中国の製造業購買担当者指数(PMI)が8月に改善を示す等、中国経済がソフトランディングするとの期待が台頭し、堅調に推移しました。10月の中国本土株式市場および香港株式市場は、中国の9月製造業PMIが8月に続き上昇するなど、経済の成長モメンタムが改善したことを受けて上昇しました。

2010年11月～2011年1月

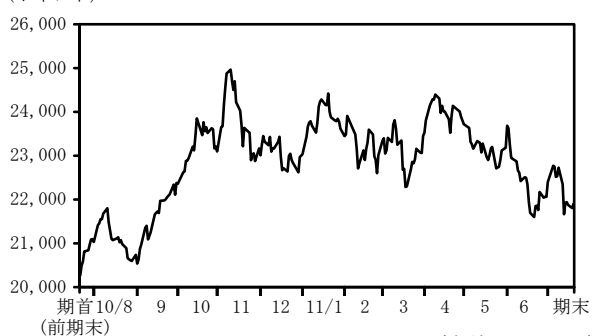
11月の中国本土株式市場および香港株式市場は、中国の10月消費者物価指数が前年同月比で+4.4%と前月および市場予想を上回る伸びとなったことを背景に金融引締め懸念が強まるなか、下落しました。12月の中国本土株式市場は、中国人民銀行が1年物預金金利および貸出金利を0.25%引上げたことなどが嫌気され、下落しました。香港株式市場については、資源価格の上昇が相場の支えとなったものの、中国本土の利上げが懸念されるなか利益確定の売りに押され、僅かな上昇にとどまりました。年明け後の中国本土株式市場は、10-12月期の実質GDP成長率が予想外の加速を示し、一段の金融引締めに対する懸念が強まったことを背景に下落しました。香港株式市場は、1月の前半は、米国の経済指標の改善を受けて世界的な景気回復への期待が高まったことが相場の支えとなったものの、その後は中国当局による預金準備率の引上げや新たな不動産価格抑制策などが嫌気され、月間の株価の上昇幅を縮小させる展開となりました。

MSCIチャイナインデックス(現地通貨ベース)の推移
(ポイント)



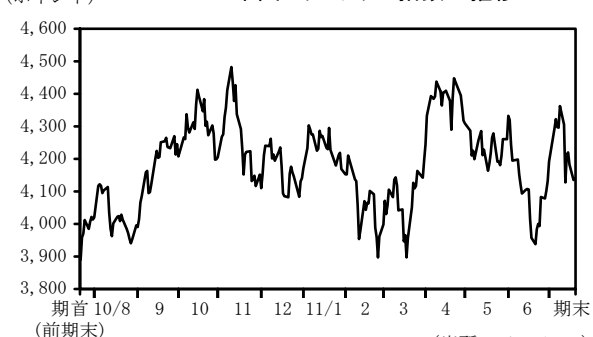
(出所: MSCI)

香港ハンセン指数の推移
(ポイント)



(出所: Bloomberg)

ハンセン中国レッドチップ指数の推移
(ポイント)



(出所: Bloomberg)

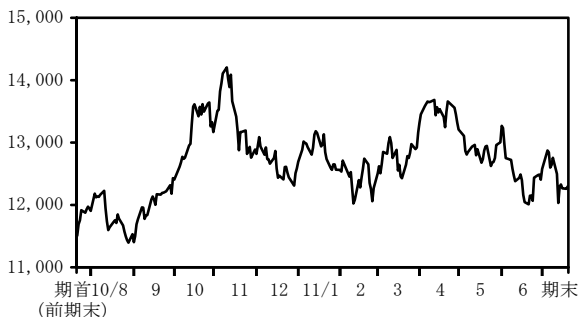
2011年2月～4月

2月の中国本土株式市場は、資源株や消費関連株の上昇が市場を牽引する展開となりました。2月8日の預金金利と貸出金利の引上げや18日の預金準備率の引上げは、利上げがすでに市場に織り込まれていたこともあり、株式市場への影響は限定的でした。香港株式市場は、米国の経済指標の改善を受け買い優勢で旧正月を迎えたものの、2月8日に中国で利上げが行われ、さらなる引締めへの懸念が強まるなか、下落基調に転じました。3月の中国本土株式市場および香港株式市場は、月初は、全人代(全国人民代表大会)によって打ち出される政策への期待を背景に上昇しました。中国の2月貿易収支が予想外の赤字となったことなどから下落する局面もありましたが、企業の好決算などを好感し再び堅調な展開となりました。4月の中国本土株式市場は、業績への期待が相場上昇の後押しとなったものの、3月消費者物価指数が予想を上回る伸びを示したことや、国家発展改革委員会傘下のシンクタンクが不動産に係る課税を強化すべきとの提案を公表したことなどが市場センチメントを悪化させ、月間では小幅下落となりました。香港株式市場は、資源価格が下落する局面でエネルギー関連株が利益確定の売りに押される局面もありましたが、米国が金融緩和策を当面継続することなどが明らかになったことを好感し、小幅上昇しました。

2011年5月～期末

5月の中国本土株式市場は、インフレ圧力の継続を背景とした更なる金融引締めが懸念される一方で、4月製造業PMIや小売売上高等が市場予想を下回り、景気に対する慎重な見方が台頭したことなどが市場センチメントを悪化させ、下落しました。香港株式市場は、エネルギー関連株等を中心に売りに押される局面もありましたが、香港の雇用や消費の堅調さを示す経済指標が示されたことなどが市場の追い風となって買戻され、前月末比でほぼ横ばいの水準で月を終えました。6月の中国本土株式市場は、経済指標が景気の減速を示す一方で、インフレ圧力が根強く、景気減速下でさらなる金融引締め策が講じられるとの懸念等を背景に軟調に推移したものの、温首相が「インフレ抑制策の効果が表れている」と発言したことからの、追加利上げが見送られるとの期待が台頭し、期末にかけ小幅上昇しました。香港株式市場は、米国および中国の経済指標が軟調であったことや、ギリシャ国債のデフォルト懸念等が株式市場の足かせとなり、下落基調の展開となりました。

(ポイント) ハンセン中国企業株指数(H株)の推移



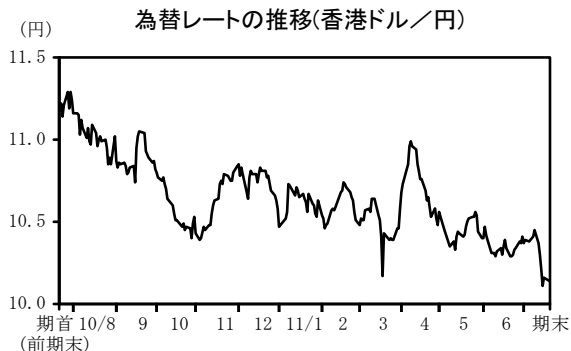
(出所: Bloomberg)

「MSCIチャイナインデックス」について

「MSCIチャイナインデックスは、MSCIが開発した中国の株式市場の動きを捉える株価指数です。同指数に関する情報は、信頼の置ける情報源から得たものですが、その正確性及び完全性をMSCIは何ら保証するものではありません。その著作権はMSCIに帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的な一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。」

【為替動向】

香港ドル、アメリカドルは、対円で軟調に推移しました。期中の対円為替レートは、香港ドルが9.3%の下落、アメリカドルが9.0%の下落となりました。



※為替レート(香港ドル/円)は、三菱東京UFJ銀行が発表する対顧客電信売買相場の仲値(TTM)です。

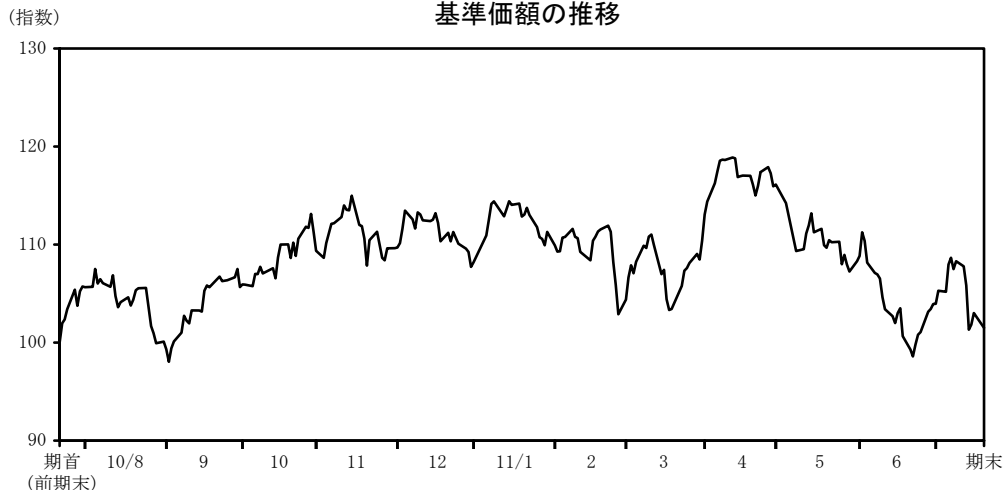
■運用概況

『コスモ・中国株厳選ファンド』

1. 基準価額の推移

当ファンドの基準価額は期首(前期末)の8,899円からスタートし、当期末は9,033円と1.5%の上昇となりました。基準価額上昇の主な要因は、マザーファンドの保有株式の値上がりによるものです。

コスモ・中国株厳選ファンド 基準価額の推移



(注) 期首(前期末)を100として指数化。

期首(前期末)	期中高値	期中安値	期末
2010年7月20日	2011年4月11日	2010年9月1日	2011年7月19日
8,899円	10,579円	8,725円	9,033円

2. 組入比率の推移

期を通じて「中国厳選株マザーファンド」受益証券に99%程度を投資しました。株式(投資信託証券を含む)の実質組入比率は概ね89~97%程度で推移させました。期末の実質組入比率は、91.0%になりました。

3. 運用の概況

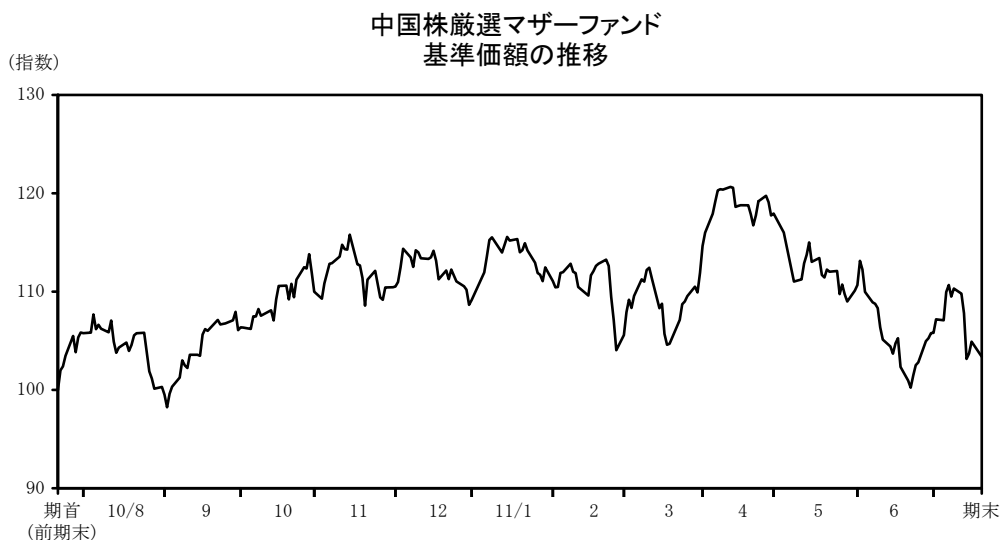
当ファンドは「中国厳選株マザーファンド」受益証券を主要投資対象とし、期を通じて同マザーファンドを高位に組入れて運用を行いました。このため実質的な運用概況はマザーファンドと同様となりますので、マザーファンドの項で説明させていただきます。

マザーファンドの運用経過は以下の通りです。

『中国株厳選マザーファンド』

1. 基準価額の推移

当マザーファンドの基準価額は期首(前期末)の12,785円からスタートし、当期末は13,217円と3.4%の上昇となりました。基準価額上昇の主な要因は、保有株式の値上がりによるものです。



(注) 期首(前期末)を100として指数化。

期首 (前期末)	期中高値	期中安値	期 末
2010年7月20日	2011年4月11日	2010年9月1日	2011年7月19日
12,785円	15,425円	12,559円	13,217円

2. 組入比率の推移

当マザーファンドの株式(投資信託証券含む)の組入比率は、リスク低減を図る目的や市場見通しなどから機動的に変化させました。期末の株式組入比率は92.1%となりました。期を通じて株式組入比率は概ね90~98%の範囲で推移させました。株式組入比率に占める中小型株式の組入比率は85~94%程度で推移させました。

3. 運用の概況

銘柄選択に当たり、ボトムアップアプローチでの徹底したファンダメンタル分析を用い、中長期的な観点から今後高い成長が期待できる企業の発行する株式および相対的に割安な株式に投資を行ったほか、個別銘柄の騰落に沿いリスク低減や利益確定のため、機動的な売買を行いました。

業種別配分は前期末は、資本財13.7%、テクノロジー・ハードウェアおよび機器11.7%、素材9.4%、商業・専門サービス7.7%、銀行7.1%等としていましたが、当期末は、資本財15.3%、テクノロジー・ハードウェアおよび機器14.8%、保険9.8%、素材9.7%、電気通信サービス7.5%、銀行7.4%等の保有としました。個別銘柄では、燃料併産発電システムを導入し、発電を行うGCL ポリエナジー、損害保険会社のPICCプロパティ&カジュアリティなどがプラスに寄与しました。一方、不動産開発会社のポリリー・ホンコン・インベストメント、りんごジュースを製造販売するイェンタイ・ノース・アンドレ・ジュースなどがマイナスに寄与しました。

外国株式組入上位10銘柄

(2011年7月19日現在)

銘柄	名	属性(※)	比率	概要
チャイナ・ユニコム		ハンセン	7.5%	中国大手通信サービス会社で、主として携帯電話サービスやインターネット通信サービスを提供しています。
中国工商銀行		ハンセン	6.0%	中国全土に事業展開している中国最大の国有商業銀行です。個人および法人向けの各種銀行サービスを提供するほか、クレジットカード、信託業務、外国為替決済、貿易決済などの業務を行っています。
チャイナ・リソーシズ・セメント		レッドチップ	5.9%	セメントメーカーで、子会社を通じて、セメント、セメント製品、クリンカーおよびコンクリートの製造、販売を行っています。
コンバ・テレコム・システムズ		その他	5.9%	中国の無線ソリューション・プロバイダーで、リピーター、アンテナ、RFパッシブ装置などの開発、生産、販売に従事するほか、プロジェクト調査、設計、管理、設置工事、メンテナンス、アフターサービスも手掛けています。
GCL ポリエナジー		その他	5.2%	電力会社で、コージェネレーション(熱併給発電所)の開発、管理、運営を行っています。
レノボ・グループ		レッドチップ	4.3%	電子、精密機器業で、主にノート型PC、デスクトップPCの製造を行っています。
ブリリアンス・チャイナ		レッドチップ	3.9%	バス・自動車メーカーで、子会社を通じ、中国でミニバス、自動車、および自動車部品の製造、販売を行っています。
PICCプロパティ&カジュアリティ		H株	3.6%	中国大手の損害保険会社で、法人・個人向けに自動車保険、火災保険、など各種保険を取り扱っています。
チャイナ・ライフ・インシュランス		ハンセン	3.6%	中国大手保険会社で、生命保険、健康保険などの各種保険サービスを提供しています。
ビンダ・インターナショナル・ホールディングス		その他	3.1%	中国国内で、ティッシュペーパー等各種家庭用紙製品の製造を行っています。

(注) 投資顧問会社である国泰君安アセット(アジア)からのデータを一部に使用しています。

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の比率。

(※) 属性につきましては、次ページの中国株式の種類をご参照ください。

業種別組入比率

前期末(2010年7月20日)			
業	種	比	率
資本財			13.7%
テクノロジー・ハードウェアおよび機器			11.7%
素材			9.4%
商業・専門サービス			7.7%
銀行			7.1%
保険			6.3%
不動産			5.8%
小売			5.4%
食品・飲料・タバコ			5.2%
家庭用品・パーソナル用品			3.2%
その他の業種			16.2%
投資信託証券			3.9%
現金等			4.5%

当期末(2011年7月19日)			
業	種	比	率
資本財			15.3%
テクノロジー・ハードウェアおよび機器			14.8%
保険			9.8%
素材			9.7%
電気通信サービス			7.5%
銀行			7.4%
公益事業			5.3%
自動車・自動車部品			4.7%
小売			4.2%
家庭用品・パーソナル用品			3.1%
その他の業種			10.4%
投資信託証券			—
現金等			7.9%

投資対象別組入比率

前期末(2010年7月20日)			
市場	属性別		比率
香港	メイン ボード	ハンセン	1.0%
		H株	23.9%
		レッドチップ	16.6%
		その他	38.3%
	GEM	4.9%	
中国	上海 B株	—	
	深セン B株	—	
その他市場		7.0%	
投資信託証券		3.9%	
現金等		4.5%	

当期末(2011年7月19日)			
市場	属性別		比率
香港	メイン ボード	ハンセン	19.0%
		H株	21.1%
		レッドチップ	16.9%
		その他	32.7%
	GEM	1.2%	
中国	上海 B株	—	
	深セン B株	—	
その他市場		1.2%	
投資信託証券		—	
現金等		7.9%	

(注) 投資顧問会社である国泰君安アセット (アジア) およびBloombergのデータをもとに当社が作成しております。

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の比率。

※中国株式の種類

■香港証券取引所

ハンセン	香港市場に上場している中国企業のうち、ハンセン指数に組み込まれている企業。香港の時価総額の約7割を占める主要銘柄が対象となります。
H株	中国本土で登記を行い、中国証券監督委員会の承認を経て香港取引所に上場している本土企業のことです。H株は生粋の中国企業と言え、重厚長大産業＝中国の基幹産業の担い手としての優良企業が多いことが特徴です。
レッドチップ	中国本土に主な事業資産を有し、資本の30%以上が中国資本で構成され、香港や他のタックスヘブン国に登記されている企業のことをいいます。アメリカの優良会社をブルーチップと呼ぶことから、その中国版としてレッドチップと呼ばれます。投資、航空、IT、通信などの企業が中心となっています。
その他	中国本土に主な事業資産を有し、中国資本が30%未満で、海外登記している企業および香港の地元企業、外国企業で香港上場している企業です。
GEM	「GEM」は、Growth Enterprise Marketの略で、ベンチャー企業育成のための中小型成長株市場として1999年11月25日に創設されました。香港版ナスダックとも言え、中国本土の優良な中小企業の上場が増えてきています。

■上海証券取引所

B株	中国の国外投資家向けの市場となっていました。2001年2月からは国内投資家にも開放されました。中国の代表的な企業などが上場しています。
----	---

■深セン証券取引所

B株	中国の国外投資家向けの市場となっていました。2001年2月からは国内投資家にも開放されました。中国の代表的な企業などが上場していますが、上海市場に比べると企業の知名度はやや低くなります。
----	---

■分配金

分配金につきましては、基準価額の水準等を考慮し、見送らせていただきました。なお、収益分配に充てなかった収益につきましては、信託財産に留保し運用の基本方針に基づいて運用を行います。

■今後の運用方針

1. 運用環境

直近の世界の株式市場は、米国のQE2(量的緩和第2弾)後のグローバル経済の堅調さを見極めるべく、株式への投資について様子見姿勢をとっているとみられます。中国経済については、製造業PMIが低下基調に転じるなど、これまでの引締めによる影響がみられます。温首相は、「インフレはすでに抑制可能である」と発言しており、これが今後金融引締め策をある程度緩めていき、長期的に持続可能な経済成長を促進していくことを見込まれます。

2. 運用方針

『コスモ・中国株厳選ファンド』

引続き、「中国株厳選マザーファンド」受益証券を主要投資対象とし、同マザーファンドを高位に組入れる運用を行います。

『中国株厳選マザーファンド』

運用にあたっては、国泰君安アセット(アジア)に運用の指図に関する権限の一部を委託します。

主として中華圏の中小型株を中心に中国経済の成長の恩恵を享受することが期待でき、中長期的に高い成長が見込める銘柄の保有を継続します。銘柄選択にあたっては、中長期的な観点から今後高い成長が期待できる企業の発行する株式および相対的に割安な株式に投資します。セクター別では、政策による強いサポートが期待できる消費、ハイテク、物流のほか、中国の第12次5ヵ年計画で示されている戦略的新興産業7業種に注目しています。

1 万口（元本10,000円）当たりの費用明細（2010年7月21日から2011年7月19日まで）

費用の明細

項 目	当 期
(a) 信 託 報 酬 （ 投 信 会 社 ） （ 販 売 会 社 ） （ 受 託 銀 行 ）	186円 (116) (60) (10)
(b) 売 買 委 託 手 数 料 （ 株 式 ） （ 投 資 信 託 証 券 ）	55 (54) (1)
(c) 有 価 証 券 取 引 税 （ 株 式 ） （ 投 資 信 託 証 券 ）	21 (21) (0)
(d) 保 管 費 用 等	17
合 計	279

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 信 託 報 酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率

(b) 売 買 委 託 手 数 料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$

(c) 有 価 証 券 取 引 税 = $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$

(d) 保 管 費 用 等 = $\frac{\text{期中の保管費用等}}{\text{期中の平均受益権口数}}$

なお、売買委託手数料、有価証券取引税および保管費用等は当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

売買および取引の状況（2010年7月21日から2011年7月19日まで）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
中国株厳選マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 420,248	千円 584,000

(注) 単位未満は切捨て。

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合（2010年7月21日から2011年7月19日まで）

項 目	当 期	
	コスモ・中国株厳選ファンド	中国株厳選マザーファンド
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	—	4,164,309千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	—	1,755,096千円
(c) 売 買 高 比 率 (a) / (b)	—	2.37

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 単位未満は切捨て。

利害関係人との取引状況等 (2010年7月21日から2011年7月19日まで)

<中国株厳選マザーファンド>

(1) 当期中の利害関係人との取引状況

区 分	当			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D/C
株 式	百万円 1,598	百万円 61	% 3.9	百万円 2,565	百万円 170	% 6.6

平均保有割合 58.9%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該子ファンドの親投資信託所有口数の割合。

(2) 利害関係人である金融商品取引業者が主幹事となって発行される有価証券

種 類	当 期
	買 付 額
株 式	百万円 26

(3) 当期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売 買 委 託 手 数 料 総 額 (A)	6,526千円
う ち 利 害 関 係 人 へ の 支 払 額 (B)	394千円
(B)/(A)	6.1%

(注) 売買委託手数料総額は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 金額の単位未満は切捨て。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期中における当ファンドに係る利害関係人とは国泰君安証券です。

組入資産の明細 (2011年7月19日現在)

親投資信託残高

種 類	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
中国株厳選マザーファンド	千口 1,075,071	千口 654,823	千円 865,479

(注) 中国株厳選マザーファンド全体の受益権口数は1,080,934千口です。

(注) 単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成 (2011年7月19日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
中国株厳選マザーファンド	865,479	97.0
コール・ローン等、その他	27,148	3.0
投資信託財産総額	892,627	100.0

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
 なお、当期末における邦貨換算レートは下記の通りです。

1 アメリカ・ドル=79.05円、1 香港・ドル=10.14円

(注) 中国株厳選マザーファンドの当期末における外貨建純資産(1,406,317千円)の投資信託財産総額(1,428,627千円)に対する比率は、98.4%です。

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2011年7月19日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	892,627,618円
コール・ローン等	27,147,684
中国株厳選マザーファンド(評価額)	865,479,897
未 収 利 息	37
(B) 負 債	16,834,401
未 払 解 約 金	7,123,220
未 払 信 託 報 酬	9,674,631
そ の 他 未 払 費 用	36,550
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	875,793,217
元 本	969,586,476
次 期 繰 越 損 益 金	△ 93,793,259
(D) 受 益 権 総 口 数	969,586,476口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,033円

(注) 期首元本額 1,553,099,566円
 期中追加設定元本額 19,250,000円
 期中一部解約元本額 602,763,090円

(注) 元本の欠損
 当期末現在、純資産総額は元本を下回っており、その差額は93,793,259円です。

(注) 1口当たり純資産額は0.9033円です。

損益の状況

当期 自2010年7月21日 至2011年7月19日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	9,708円
受 取 利 息	9,708
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	33,101,562
売 買 益	70,462,940
売 買 損	△ 37,361,378
(C) 信 託 報 酬 等	△ 22,007,412
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	11,103,858
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 245,069,207
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	140,172,090
(配 当 等 相 当 額)	(161,023,581)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 20,851,491)
(G) 合 計 (D+E+F)	△ 93,793,259
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	△ 93,793,259
追 加 信 託 差 損 益 金	140,172,090
(配 当 等 相 当 額)	(161,052,836)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 20,880,746)
分 配 準 備 積 立 金	239,517,939
繰 越 損 益 金	△ 473,483,288

(注) 損益の状況の中で

(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(C)信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(注) 当期における親投資信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託する為に要する費用。

支払金額7,810,061円(中国株厳選マザーファンド)

分配金の計算過程

計算期間末における費用控除後の配当等収益(4,603,929円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、収益調整金(161,052,836円)および配準備積立金(234,914,010円)より、分配対象収益は400,570,775円(1万口当たり4,131円)となりましたが、当期の分配は見送らせていただきました。

中国株厳選マザーファンド

第5期運用報告書 〔決算日 2011年7月19日〕

(計算期間 2010年7月21日から2011年7月19日まで)

「中国株厳選マザーファンド」は、「コスモ・中国株厳選ファンド」が投資対象とする親投資信託であり、信託財産の実質的な運用を行っております。以下、法令・諸規則に基づき、期中の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	信託期間は原則無期限です。
運用方針	信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。 外貨建資産については原則として為替ヘッジは行いません。国泰君安アセット（アジア）に運用の指図に関する権限の一部を委託します。
主要運用対象	主たる投資対象は、香港、上海および深センの各金融商品取引所の上場銘柄とします。なお、事業・投資活動がグレーターチャイナ地域（中国・香港・台湾）で行われている企業であれば、その他の各市場に上場している銘柄にも投資を行います。
組入制限	株式への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

設定以来の運用実績、基準価額の推移等

設定以来の運用実績

決算期	基準価額	株式組入比率	株式先物比率	投資信託証券組入比率	純資産総額
設定日	円	%	%	%	百万円
2006年7月21日	10,000	—	—	—	4,640
1期 2007年7月17日	20,475	104.8	93.6	—	10,021
2期 2008年7月17日	15,184	△ 25.8	91.7	—	5,721
3期 2009年7月17日	12,316	△ 18.9	81.3	—	3,104
4期 2010年7月20日	12,785	3.8	91.7	—	2,376
5期 2011年7月19日	13,217	3.4	92.1	—	1,428

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) 設定日の基準価額および純資産総額には、当初元本を用いております。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは、主として香港、上海および深センの上場銘柄のうち中小型株を中心に投資を行います。同様のユニバースから構成される適切な指数が存在しないため、当ファンドでは、ベンチマークおよび参考指数を特定しておりません。

当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率	投 資 信 託 証 券
		騰 落 率	騰 落 率			
期首 (前期末)	円	%		%	%	%
2010年7月20日	12,785	—		91.7	—	3.9
7月末	13,523	5.8		92.7	—	3.9
8月末	12,723	△ 0.5		93.4	—	4.1
9月末	13,599	6.4		93.3	—	4.1
10月末	14,062	10.0		93.4	—	4.3
11月末	14,130	10.5		90.9	—	—
12月末	13,953	9.1		89.5	—	—
2011年1月末	14,200	11.1		92.3	—	—
2月末	13,498	5.6		91.4	—	—
3月末	14,657	14.6		94.1	—	—
4月末	15,078	17.9		94.6	—	—
5月末	14,148	10.7		94.5	—	—
6月末	13,527	5.8		91.5	—	—
期 末						
2011年7月19日	13,217	3.4		92.1	—	—

(注) 基準価額は1万口当たり。騰落率は期首比。

(注) 先物比率＝買建比率－売建比率

(注) 当ファンドは、主として香港、上海および深センの上場銘柄のうち中小型株を中心に投資を行います。同様のユニバースから構成される適切な指数が存在しないため、当ファンドでは、ベンチマークおよび参考指数を特定しておりません。

当期の運用状況と今後の運用方針

2～8ページをご参照ください。

1万口（元本10,000円）当たりの費用明細（2010年7月21日から2011年7月19日まで）

費用の明細

項 目	当 期
(a) 売買委託手数料 （株 式） （投資信託証券）	82円 （ 80） （ 2）
(b) 有価証券取引税 （株 式） （投資信託証券）	31 （ 31） （ 0）
(c) 保管費用等	24
合 計	137

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 売買委託手数料＝ $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$

(b) 有価証券取引税＝ $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$

(c) 保管費用等＝ $\frac{\text{期中の保管費用等}}{\text{期中の平均受益権口数}}$

(注) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

売買および取引の状況 (2010年7月21日から2011年7月19日まで)

(1) 株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	ア メ リ カ	百株 —	千アメリカ・ドル —	百株 2,950.04	千アメリカ・ドル 1,855
	香 港	百株 285,631 (16,174)	千香港・ドル 150,014 (1,309)	百株 994,239.71 (10,304)	千香港・ドル 226,381 (1,325)

(注) 金額は受渡代金。単位未満は切捨て。ただし株数が単位未満の場合は小数で記載。

(注) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(2) 投資信託証券

			買 付		売 付	
			口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	香港	ISHARES A50 CHINA TRACKER	千口 —	千香港・ドル —	千口 335	千香港・ドル 4,391
		ISHARES CSI A-SHARE FINANCIA	—	—	345	4,662

(注) 金額は受渡代金。単位未満は切捨て。

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合 (2010年7月21日から2011年7月19日まで)

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	4,164,309千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	1,755,096千円
(c) 売 買 高 比 率 (a) / (b)	2.37

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 単位未満は切捨て。

当期中の主要な売買銘柄 (2010年7月21日から2011年7月19日まで)

外国株式 (上位10銘柄)

買 付				売 付			
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
ジャンシー・コッパー	410	100,126	244	中国全通	9,704	254,334	26
中国工商銀行	1,500	93,308	62	ミンメタルズ・ランド	7,876	135,328	17
チャイナ・ユニコム	692	82,777	119	中国民生銀行	1,371.6	105,816	77
コンバ・テレコム・システムズ	950	82,080	86	ジャンシー・コッパー	409	104,146	254
チャイナ・リソーシズ・セメント	1,088	67,452	61	PICCプロパティ&カジュアリテイ	980	98,233	100
チャイナ・ライフ・インシュランス	193	65,393	338	アンファイ・コンチ・セメント	300	97,034	323
ルイニエン・インターナショナル	1,092	64,333	58	SREグループ	10,244	91,155	8
AAC アコースティック	254	57,212	225	スマートーン・テレコミュニケーション	287.5	73,611	256
サニー・ヘビーエクイップメント	350	53,843	153	コンコルド・メディカル	114.6	71,196	621
広州シップヤード	300	53,102	177	ワシオン・グループ	1,206	68,584	56

(注) 金額は受渡代金。単位未満は切捨て。ただし株数が単位未満の場合は小数で記載。

(注) 株式分割、合併等による増減分の調整は行っておりません。

利害関係人との取引状況等 (2010年7月21日から2011年7月19日まで)

(1) 当期中の利害関係人との取引状況

区 分	当			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D/C
株 式	百万円 1,598	百万円 61	% 3.9	百万円 2,565	百万円 170	% 6.6

(2) 利害関係人である金融商品取引業者が主幹事となって発行される有価証券

種 類	当 期	
	買 付 額	
株 式	百万円 26	

(3) 当期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売 買 委 託 手 数 料 総 額 (A)	11,151千円
う ち 利 害 関 係 人 へ の 支 払 額 (B)	664千円
(B)/(A)	6.0%

(注) 金額の単位未満は切捨て。

※ 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは国泰君安証券です。

組入資産の明細 (2011年7月19日現在)

下記は、中国株厳選マザーファンド全体(1,080,934千口)の内容です。

(1) 外国株式

銘 柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
コンコルド・メディカル	1,146	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
Sinovac Biotech Ltd	1,400	687.46	214	16,955	医薬・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
シャンダ・ゲームズ	1,091.5	—	—	—	ソフトウェア・サービス
アメリカ・ドル 株 数 ・ 金 額	3,637.5	687.46	214	16,955	
通貨計 銘柄数 <比率>	3銘柄	1銘柄	—	<1.2%>	
(香港)	百株	百株	千香港・ドル	千円	
ヤンジョウ・コール・マイニング	100	—	—	—	エネルギー
ペトロチャイナ	—	700	795	8,063	エネルギー
クンルン・エナジー	1,000	—	—	—	エネルギー
ブライトオイル	—	10,000	2,920	29,608	エネルギー
チャイナ・コール・エナジー	1,000	—	—	—	エネルギー
ジャンシー・コッパー	—	10	27	275	素材
アンファイ・コンチ・セメント	3,000	—	—	—	素材

銘柄	株数	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(香港)	百株	百株	千香港・ドル	千円		
チャイナ・ティンバー	—	1,000	34	344	素材	
ナイン・ドラゴンズ・ペーパー	1,090	1,090	737	7,482	素材	
チャイナ・ナショナル・ビルディング	2,400	—	—	—	素材	
チャイナ・ブルー・ケミカル	1,540	1,540	940	9,541	素材	
サムリン・グローバル	37,100	—	—	—	素材	
北京金隅	3,000	3,000	3,576	36,260	素材	
チャイナ・リソーシズ・セメント	—	10,880	8,366	84,838	素材	
リアル・ゴールド・マイニング	—	5	4	44	素材	
チャイナ・ルメナ・ニュー・マテリアルズ	14,000	—	—	—	素材	
天津デベロップメント	7,400	—	—	—	資本財	
ポリー・ホンコン・インベストメント	12,300	7,800	4,017	40,732	資本財	
広州シップヤード	—	3,000	3,234	32,792	資本財	
広州シップヤード(新株)	—	900	970	9,837	資本財	
チャイナ・レールウェイ・グループ	—	100	32	329	資本財	
チャイナ・ナショナル・マテリアルズ	—	4,470	2,655	26,923	資本財	
シンエス・ソーラー	—	4,500	2,776	28,153	資本財	
中国冶金科工集団	8,000	8,000	2,304	23,362	資本財	
サニー・ヘビーエクイップメント	—	5,250	4,173	42,321	資本財	
チャイナ・ロンシェン	—	2,560	1,331	13,498	資本財	
ミンメタルズ・ランド	78,760	—	—	—	資本財	
ユエシュー・トランスポート	5,040	40	15	161	運輸	
ダリアン・ポート	10,820	—	—	—	運輸	
ブリリアンス・チャイナ	—	6,000	5,448	55,242	自動車・自動車部品	
チャンフェン・アクスル	—	3,800	1,159	11,752	自動車・自動車部品	
ファバ・インターナショナル	236,200	84,360	733	7,442	耐久消費財・アパレル	
シノメディア・ホールディング	12,000	—	—	—	メディア	
ゴメ・エレクトロニカル・アプライアンス	18,000	6,000	2,034	20,624	小売	
シャンファ・ウインシエア	9,380	9,380	3,892	39,471	小売	
PCDストアーズ	8,400	—	—	—	小売	
チョンサン・グループ・ホールディングス	1,335	—	—	—	小売	
チャオダ・モダン・アグリカルチャー	300	300	82	833	食品・飲料・タバコ	
グローバル・バイオケム	36,064	—	—	—	食品・飲料・タバコ	
イェンタイ・ノース・アンドレ・ジュース	186,850	106,850	3,365	34,128	食品・飲料・タバコ	
ピンダ・インターナショナル・ホールディングス	9,000	5,000	4,325	43,855	家庭用品・パーソナル用品	
ジーリン・チャンロン	—	9,320	913	9,261	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
ユナイテッド・ラボラトリーズ	—	20	17	176	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
バンク・オブ・チャイナ	5,500	5,500	1,936	19,631	銀行	
中国工商银行	—	15,000	8,475	85,936	銀行	
チャイナ・シティック・バンク	6,300	—	—	—	銀行	
中国民生銀行	13,716	—	—	—	銀行	
PICCプロパティ&カジュアリティ	9,800	3,400	5,018	50,886	保険	
チャイナ・ライフ・インシュランス	—	1,930	5,008	50,784	保険	
中国太平洋保険	2,000	1,212	3,769	38,220	保険	
SREグループ	102,440	—	—	—	不動産	
アジャイル・プロパティ	4,500	—	—	—	不動産	
チャイナ・オーバーシーズ・グランド・オーシャンズ・グループ	—	2,570	2,862	29,030	不動産	
キンディー・インターナショナル・ソフトウェア	1,000	—	—	—	ソフトウェア・サービス	
チャイナ ITS	590	4,540	1,316	13,350	ソフトウェア・サービス	
レノボ・グループ	12,500	12,500	6,000	60,840	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
ゴールド・ピーク	62,215.71	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
VSTホールディングス	18,000	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
コンパ・テレコム・システムズ	—	11,495	8,299	84,155	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
ジュ・テン・インターナショナル	3,500	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
ワシオン・グループ	12,060	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	

銘柄	柄	期首(前期末)	当 期 末		業 種 等	
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額		邦貨換算金額
(香港)		百株	百株	千香港・ドル	千円	
サンキング・パワー・エレクトロニクス		—	20	2	24	
中国全通		103,300	10,760	2,259	22,912	
AACテクノロジー		—	2,540	4,287	43,475	
チャイナ・ユニコム		—	6,920	10,518	106,656	
ENNエナジー		80	80	221	2,242	
GCL ポリ・エナジー		33,440	17,940	7,265	73,674	
香港・ドル	株 数 ・ 金 額	1,095,020.71	392,282	128,124	1,299,186	
通貨計	銘柄数 <比率>	43銘柄	44銘柄		<90.9%>	
ファンド	株 数 ・ 金 額	1,098,658.21	392,969.46	—	1,316,141	
合計	銘柄数 <比率>	46銘柄	45銘柄		<92.1%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

(注) 株数・評価額の単位未満は切捨て。ただし株数が単位未満の場合は小数で記載。

(2) 外国投資信託証券

銘柄	柄	期首(前期末)	当 期 末		
		口 数	口 数	評 価 額	
				外貨建金額	邦貨換算金額
(香港ドル)		千口	千口	千香港・ドル	千円
ISHARES A50 CHINA TRACKER		335	—	—	—
ISHARES CSI A-SHARE FINANCIA		345	—	—	—
ファンド	口 数 ・ 金 額	680	—	—	—
合計	銘柄数 <比率>	2銘柄	—		<—>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成 (2011年7月19日現在)

項 目	当 期		末 率
	評 価 額	比	
	千円		%
株 式	1,316,141		92.1
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	112,486		7.9
投 資 信 託 財 産 総 額	1,428,627		100.0

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

なお、当期末における邦貨換算レートは下記の通りです。

1 アメリカ・ドル=79.05 円、1 香港・ドル=10.14 円

(注) 当期末における、外貨建純資産 (1,406,317 千円) の投資信託財産総額 (1,428,627 千円) に対する比率は、98.4%です。

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2011年7月19日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1,437,753,078円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	104,528,188
株 式(評価額)	1,316,141,794
未 収 入 金	9,143,100
未 収 配 当 金	7,939,966
未 収 利 息	30
(B) 負 債	9,126,000
未 払 金	9,126,000
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	1,428,627,078
元 本	1,080,934,254
次 期 繰 越 損 益 金	347,692,824
(D) 受 益 権 総 口 数	1,080,934,254口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (D/C)	13,217円

(注) 期首元本額 1,858,777,260 円

期中追加設定元本額 0 円

期中一部解約元本額 777,843,006 円

(注) 1 口 当 た り 純 資 産 額 は 1.3217 円 で す。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本の内訳

コスモ・中国株厳選ファンド 654,823,256 円

中国株厳選ファンド3ヵ月決算型 426,110,998 円

損益の状況

当期 自2010年7月21日 至2011年7月19日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	27,106,592円
受 取 配 当 金	27,081,991
受 取 利 息	24,601
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	111,285,249
売 買 益	463,853,649
売 買 損	△ 352,568,400
(C) そ の 他 費 用	△ 3,302,771
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	135,089,070
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	517,760,748
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 305,156,994
(G) 合 計 (D+E+F)	347,692,824
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	347,692,824

(注) 損益の状況の中で

(B) 有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(F) 解約差損益金とあるのは、一部解約の際、元本から解約価額を差引いた差額分をいいます。